

## 令和6年度（前期・後期）水運用研修《2日間コース》

日 程	時 刻	科 目
1日目 (開催期 日は下記 参照)	9:00~9:20	受付 <b>【場所：中村ウォータープラザ1階会議室】</b>
	9:20~9:30	開講式・オリエンテーション
	9:30~10:00	<b>水運用概論（計画編）</b> ----- 水運用の基本計画を説明します。
	10:00~10:30	<b>水運用概論（管路の改良・更新編）</b> ----- 配水管のダウンサイジング等の取組を説明します。
	10:30~11:20	<b>水運用概論（全体管理編）</b> ----- 「全市的な水運用」の基礎知識の習得を目指します。東日本大震災の際の節電時の水運用についても紹介します。
	11:20~14:30 (昼休み休憩1時間含む)	<b>水運用概論（配水管理編）</b> ----- 配水池以降の水運用について、これまで実務で取扱った写真等を多く使用して解説します。横浜市での申請書類作成等についても紹介します。
	14:40~15:50	<b>水運用計画の留意点（事故事例：原因と対策方法ほか）</b> ----- 過去の事故事例について、原因や対策等を中心に紹介します。
16:00~16:40	<b>水道施設管理マッピングシステム概要</b> ----- 膨大な水道施設図面を管理している水道施設管理マッピングシステムについて、システムの概要を説明します。	
2日目 (開催期 日は下記 参照)	9:00~9:20	受 付 <b>【場所：中村ウォータープラザ1階会議室】</b>
	9:20~10:30	<b>水理学概論（実験等含む）</b> ----- 水理学の基礎知識等について、実験も交えながら説明します。
	10:30~13:30 (昼休み休憩1時間含む)	<b>管網解析研修</b> ----- 計画段階における管網解析の活用について多くの文献がありますが、現場の実用レベルの文献は皆無と言っても過言ではありません。本研修ではこれまでの水道局の実務で培った経験を基に、管網解析で最も重要な解析結果の「読解力」を身に付けるべく、例示しながら説明します。

	13:30~15:30	<b>水運用関連実技実習【場所：中村管路研修施設】</b> ・水運用技術（系統切替作業操作等） ・事故例の擬似実習（※管せん抜出）
		系統切替作業（バルブ操作）の基礎知識を解説と実技により学びます。さらに、直営業務が減少する中で、水の勢い・水圧の強さ・水量などについて体験し、現象を体感しながら理解していただきます。
	15:30~15:40	<b>閉講式、解散</b>

※科目ごとの時間割詳細については調整中です。（適宜講義内で休憩を挟みます。）

**※両日とも横浜市水道局の庁舎を借用して開催します。庁舎管理上、受付時間帯より早くお越しにならないようお願いいたします。**

**目 的** 本研修は、横浜市水道局の管路研修施設等を利用して、実際にバルブ操作や系統切替作業等を体験することにより、水運用に係わる現場技術を修得するとともに、水理学及び水運用に関する基礎知識や事故事例、管網解析・計算等、水運用実務に必要な基礎知識を身に付けていただくことを目的とします。

**研修対象  
定 員** 民間企業及び水道事業体技術系初級職員（水運用や管網計算の基礎を学ぶ方向け）  
20名

開催日 及び 研修会場	開催日	研修会場
	(前期) 6月13日、14日	横浜市水道局中村ウォータープラザ 横浜市水道局管路研修施設（中村ウォータープラザ内）
	(後期) 9月26日、27日	横浜市水道局中村ウォータープラザ 横浜市水道局管路研修施設（中村ウォータープラザ内）

**受講料** 1名 38,280円（消費税込み）

**その他** **実技実習日（2日目）は、作業服（必ず長袖）・安全靴（半長靴が望ましい）を持参して下さい。**軍手・ヘルメットは主催者側で用意します。

**講 師** 横浜市水道局職員

**アクセス** 中村ウォータープラザへは公共交通機関をご利用の上お越しください。（マイカーでの来場はできません。）